

調査研究資料【特別の教科 道徳】

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむこと	(1)道徳的価値についての内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性	・内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) ペアでの対話やグループによる話し合いや自分の考えを書くなどの目的に応じた効果的な言語活動	・目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。
	(3)読み物教材の登場人物に自我関与する学習や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習	・左記「着眼点」に示した三つの学習の内容や分量はどのようであるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養うこと	(1)発達の段階や特性等を考慮した、多様な教材の開発と活用	・現代的な課題をはじめ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような教材を取り上げているか。また、その分量はどのようであるか。
	(2)家庭や地域社会と共に道徳的実践の日常化を一層推進した指導	・家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱い、評価にかかわること	・教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、評価への対応について、どのような工夫があるか。	
4 「地域社会人」の育成にかかわること	(1)「地域社会人」の育成に資する学習や活動（ふるさとや地域への誇りと愛着をもち続けること）	・ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるために、どのような教材を取り上げているか。また、その分量はどのようであるか。
5 印刷・造本	(1)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	・印刷の状況（鮮明度、美しさ）はどうか。また、フォントの大きさ、配色、レイアウトなど、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。
	(2)使用上の便宜	・目次、索引、注、凡例、巻末資料等の使いやすさには、どのような特徴があるか。

※上記「調査項目」の「1」及び「2」は、学校教育法第21条各号に掲げる目標を達成する際、特に意を用いなければならないもの。